31 巻 12 号　（ 2026.11.15 頃発売予定 発行 12,000部 約 100 ページ B5判 ）

消化器疾患看護専門誌

消化器ナーシング　2026.12月号

チーム医療の要のナースになる

入院前から退院後まで 消化器がん治療の連携術（仮）

プランナー：竹内裕也 浜松医科大学 外科学第二講座 教授

特　集

昨今の臨床現場では、患者さんの予後改善やQOL向上、さらには医療スタッフの業務効率化という側面からも「チーム医療」の重要性が叫ばれていることかと思います。そこで本特集では、入院前に行われる調整から退院後の支援まで、各領域の医療従事者がどのように関わり合いながら消化器がん患者さんを支えるのか、その全体的な流れや多職種連携の実際、集学的治療の進めかたなど、チーム医療のポイントとなる点を解説します。

はじめに 消化器がん治療におけるチーム医療の重要性とナースの役割	羽田綾馬	浜松医科大学 外科学第二講座
1章.【臓器別】消化器がんの集学的治療とケアの実際		
1-1. 食道がんに対する集学的治療	境井勇気	浜松医科大学 外科学第二講座
1-2. 胃がんに対する集学的治療	曽根田 亘	浜松医科大学 外科学第二講座
1-3. 大腸がんに対する集学的治療	立田協太	浜松医科大学 外科学第二講座
1-4. 肝臓がんに対する集学的治療	森田剛文	浜松医科大学 外科学第二講座
1-5. 胆道がんに対する集学的治療	古橋 暁	浜松医科大学 外科学第二講座
1-6. 膵臓がんに対する集学的治療	武田 真	浜松医科大学 外科学第二講座
2章. 消化器がん治療における多職種連携とケアの実際		
2-1. プレハビリテーションでの連携	羽田綾馬	浜松医科大学 外科学第二講座
2-2. 集学的治療を支える管理栄養士・医師との連携	白井祐佳	浜松医科大学医学部附属病院 栄養部
2-3. 医療ソーシャルワーカー・地域連携室との連携	村松里菜	浜松医科大学医学部附属病院 看護部
2-4.【事例検討】こんなときどうする？ 多職種カンファレンスの実際	川田 三四郎	市立湖西病院 外科

連載

・「私の道しるべ～思い描く理想の医療従事者へ～」

・「最前線！ 外科医の実践と研究から学ぶ これからの災害医療×地域医療」　澤野豊明（公益財団法人ときわ会 常磐病院 外科）
　常磐病院にDMATカートを導入する

読者ターゲット　消化器外科／内科病棟・外来のナース、がん看護ナース、消化器内視鏡技師・ナース

ADポイント　消化器看護について広く深く情報発信します。関連商品には格好のPRとなります。

広告締切　申込締切日：2026.9.29　版下出版社必着：4C 2026.9.29　1C 2026.10.13　綴込 2026.10.16

広告料（税抜き）

掲載面	刷色	スペース	料金	サイズ（mm）
表4	カラー	1頁	250,000	205×172【断ち切り】
表2	カラー	1頁	230,000	257×182【断ち切り】
表3	カラー	1頁	210,000	257×182【断ち切り】
記事中※	カラー	1頁	160,000	257×182【断ち切り】
記事中	1色	1頁	80,000	220×150
記事中	1色	1/2頁	50,000	105×150
綴込		1枚	100,000	仕上がりに天地左右3mm タチシロありの印刷物

※掲載場所指定は20%増の料金となります（記事中カラーのみ対応）。

取扱い広告代理店

●広告原稿は完全データでお願いします。 ※広告掲載前に審査がございます。事前に広告内容をお知らせください。
●入稿の際は、広告データ、出力見本（確認用PDF）をご準備ください。
●広告掲載スペースには、断ち切りサイズ掲載可能スペースと、掲載不可のスペースがあります。掲載スペースとサイズをご確認ください。
●企画内容が変更になる場合があります。

広告に関するお問い合わせは、上記の取扱い代理店、もしくは(株)メディカ出版 総広告代理店(株)メディカ・アド
TEL:03-5776-1853までお願いいたします。

◇この内容は、弊社ホームページ内の「掲載可能な専門誌一覧（https://www.medica.co.jp/ad/）」からダウンロードできます。

発行：株式会社メディカ出版